

## 第6回新発田駅前複合施設サポート組織研修会 概要

1 開催日時：平成27年12月17日（木） 午後6時30分～午後9時

2 開催場所：新発田市生涯学習センター 多目的ホール

3 参加者数：22名

4 日程

(1) 開会

(2) 第5回研修会概要報告

(3) 組織図案説明

(4) グループワーク

「サポート活動がしやすい組織とは？組織規約を考える。」

(5) 発表

(6) 質疑応答

(7) 諸連絡

(8) 閉会

	グループワーク「サポート活動がしやすい組織とは？組織規約を考える。」
2班	<p><b>【1 組織の目的と事業について】</b></p> <p><b>【2 個人と団体の扱いについて】</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>・総合サポートメンバーの中でも代表は決めるべきである。</li><li>・部会と総合サポートメンバーの区分を明確にして、サポーターを募集すべきである。</li><li>・サポート組織は、新しく設立する組織であるため、それぞれの団体や個人が今までに行っている活動に捉われず、新しい考え方を出し合い、活動が出来る場であるべきである。</li><li>・個人サポーター、団体サポーターがいるが、それぞれの意見を出し合い、尊重し合える組織であるべきである。</li></ul> <p><b>【3 サポート活動は有償か、無償か。】</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>・サポート活動は無償と考える。人と人の心をつなぐことが大切であり、活動によって得られるものである。</li><li>・サポーターから普通会员は会費 1,000 円、賛助会員は会費 3,000 円を納めてもらい、活動費に充てる。</li></ul>

	グループワーク「サポート活動がしやすい組織とは？組織規約を考える。」
3班	<p><b>【1 組織の目的と事業について】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・目的案（1）に「新発田駅前複合施設の運営及び利用者のサポートを行う。」とあるが、運営には利用者のサポートも含まれるため、「利用者のサポート」は不要である。</li> <li>・行政とサポーターの役割がわからないため、それぞれの役割を明確にした方がよい。</li> <li>・目的案（2）は、「新発田駅前複合施設が目指す人が行き交い賑わいあふれるまちづくりを牽引する核となる拠点の創造の実現に努める」としているが分かりにくい。基本コンセプトには「もの・ひと・活動をつなぐ」ともあり、こちらの方が、サポート組織の活動に合うのではないかと。</li> <li>・事業の内容が、サポーターのみが活動を行うように見える。市の関わり方も説明に加えた方がよい。</li> <li>・サポーターとは何かを考えた際に、掴みきれていない部分がある。当初、新発田駅前複合施設で活動が可能だと思われる団体にサポーター募集の文書が届いたが、それを見て、新発田駅前複合施設は公民館のような役割を持つ施設であり、団体がその場所をどのように有効に利用して活動を行うことができるのかを研修会で考えると捉えた方もいたようだ。</li> </ul> <p><b>【2 個人と団体の扱いについて】</b></p> <p><b>【3 サポート活動は有償か、無償か。】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・サポート活動は基本、無償であるべきと考えるが、塩尻市「えんぱーくらぶ」のように、サポート活動を行うことで、ポイントを貯め、貯めたポイントは施設使用料に充てられるようなポイント制があると、団体サポーターの活動は活性化すると思う。</li> </ul>

	<p style="text-align: center;"><b>グループワーク「サポート活動がしやすい組織とは？組織規約を考える。」</b></p>
<p>4班</p>	<p><b>【1 組織の目的と事業について】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・目的案（1）に「新発田駅前複合施設の運営及び利用者のサポートを行う。」とあるが、「利用者のサポート」は不要であると考ええる。</li> <li>・目的案（2）は、「会員相互のつながりを深め、新発田駅前複合施設が目指す人が行き交い賑わいあふれるまちづくりを牽引する核となる拠点の創造の実現に努める。」とあるが、サポート組織は、活動をすることが一番重要であるため、「会員相互のつながりを深め」という文言は文頭に置かない方がよい。</li> <li>・他自治体では数年間検討を重ねた上でサポート組織を設立している。他自治体と比べると、新発田市は短期間で組織を設立しようとしている。サポート組織を作るのはまだ早いのではないかと感じる。形だけの組織にならないようにするためには、サポーターそれぞれが興味のある活動を行うことと市と部会がつながることが必要だと考える。</li> </ul> <p><b>【2 個人と団体の扱いについて】</b></p> <p><b>【3 サポート活動は有償か、無償か。】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・サポート活動は基本無償であるべき。ただし、サポート組織がNPO法人となり、施設運営全てを担うのなら有償である。</li> <li>・塩尻市「えんぱーくらぶ」のような、サポート活動を行うことで、ポイントを貯め、貯めたポイントは施設使用料に充てられるようなポイント制については、サポート組織がポイントを管理するとしたら、手間がかかり難しい。</li> </ul>

	グループワーク「サポート活動がしやすい組織とは？組織規約を考える。」
5班	<p><b>【1 組織の目的と事業について】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・部会制を取るという方向で話が進んでいるが、国際交流部会を提案したい。現在、800名を超える外国人が新発田市にお住まいであり、その方たちをサポートできればと考え提案する。外国人に関するボランティアの方も多くいらっしゃるため、その方々のサポートもできればと思う。</li> <li>・イベントと日々のアクティビティ（活動）の違いを明確にして話し合った方がよい。</li> <li>・団体サポーターの方は、すでに他施設等で活動をされている方が多いと思われるが、自分たちの団体の活動と、サポート組織との活動のすり合わせが必要である。イベントのみを新発田駅前複合施設で行えばよいのか等検討する必要がある。</li> <li>・話し合いの際は、初めて参加する方もいるので、平面図等、建物のキャパシティ等再度示してもらいたい。</li> <li>・サポート活動として、何ができるのかたたき台のようなものがあるとよい。</li> </ul> <p><b>【2 個人と団体の扱いについて】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・個人サポーターも団体サポーターも同様に考える。ものすごく大きな団体がサポート組織に加入したとして、団体が全員個人サポーターとして加入したら、偏ってしまう可能性がある。どんなに大きな団体でも1人として加入すべきである。</li> </ul> <p><b>【3 サポート活動は有償か、無償か。】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・サポート活動は、ほぼ無償と考える。ただし、無償と有償の線引きは必要である。例えば、キッチンスタジオでイベントを行う際に講師を呼んだ場合に謝礼をお支払いしたり、他に先生をお招きしたりする際には交通費程度はお支払いしたいため、そのような場合は有償になると思う。</li> <li>・サポーターは一人1,000円程度の会費を負担することで運営費に充ててはどうか。</li> <li>・賛助会員は、活動のためになんとしてもお願いするようにし、一口500円程度で考えた。</li> <li>・寄付をしてくださる方がいたら、形にできるものでお返しできればなおよい。新潟市の「ほんぽーと」ではマンホールが施設までの地図になっており、新発田市でも、マンホールにイベントの宣伝をしたり、法人であれば社名や名前を記入したりとできたらよいのではないか。</li> <li>・サポート組織の会費は、登録にもつながるし、サポーターの意識の高まりにもつながるため有効である。</li> </ul>

## 欠席者からいただいたご意見

### 「サポート活動がしやすい組織とは？組織規約を考える。」

- ・ サポーター間のつながりを強くしたいのは理解できるが、まだ組織が設立していない研修会の状態でつながりや絆を深めるのは難しい。また、現在は、個人サポーターと団体サポーターがいるが、既に活動を行っている団体サポーターは独立しており、代表、副代表の役員2名でサポーター全員をまとめるには負担が大きく困難であると感じる。そのため、設立時は、強いつながりがなくともサポート活動を実施できる組織づくりが大切と考える。
- ・ サポート組織が自主活動（全館を挙げてのクリスマス会のようなもの）を行うとしたら、年1回程度が精一杯である。
- ・ 個人サポーターや団体サポーターが、サポート組織の支援を受けて共催自主活動を行うことは可能である。（例：団体サポーターが現在行っている活動、講演会の開催、読み聞かせ等）
- ・ サポート活動は、施設で行われる多様な活動を自主的に支援することだと捉えている。サポート（支援）であり、運営主体は、サポート組織であると考えますが、施設の管理者は市や市教育委員会であるため、市や市教育委員会が強力に関わると考えてよいか。これは、重要な点であるが研修会でははっきりしていない。
- ・ 現在検討しているサポート組織が実施主体になるのは、人的、金銭的、時間的に無理があると感じる。
- ・ 第1回研修会資料No.2では、サポーターとは「施設で行われる多様な活動を自発的に支援する個人や団体」とある。多様な活動とは、サポーターと施設が一緒に行う活動と考えるが、サポーターが自主的に行う活動となると負担が大きい。
- ・ これまでの研修会の説明では、運営主体が「サポート組織」であるが、組織はサポーターが組織したものである。各サポーターが自主活動を行うのではなく、サポート組織として自主活動をするのは難しく、できないと思う。サポーターは、支援をするもので、主体的に運営をするのは違うと考える。運営主体はサポート組織なのだが、サポーターとの関係に問題がある。

## 【質疑応答概要】

- 意見 1 感想であり、推測であるが、市ではある程度方針や整理されているものがあるのではないかと考えている。サポート組織に関する行政の役割や、サポート組織にどの程度補助金が付いて活動を進めていくのか等決まっているのではないと感じる。そのようなものを研修会参加者に示せばもっと具体的に話ができるのではないかと感じる。
- 意見 2 第2回研修会では、塩尻市えんぱーく及びサポート組織「えんぱーくらぶ」を視察した。第3回研修会では、新発田市は「えんぱーく」を目指すわけではないと説明があった。その後、参考資料として、「えんぱーくらぶ」のポイント制や規約が送付されてきた。ただし、どうしてそれが参考資料になったのかの説明はなく、グループワークが開始された。現在は目隠しをされた中で、話し合いを進めているように感じる。研修会に参加しても、私たちの所属する団体では、充実感がなく終わると感じている。研修会は、忌憚なく意見交換ができる場であればいいと思う。
- 回答 1・2 塩尻市「えんぱーく」、サポート組織「えんぱーくらぶ」、長岡市「アオーレ長岡」の例を出したのは、様々な事例を見ながら、皆さまにお考えいただきたいと考えたからである。市は、参考資料として示した組織のように進めるつもりはない。市が、このような形で進めてほしいと示せば、納得していただけたかもしれないが、市としては、皆さまが活動しやすい組織の形を、実際に活動をされる方にお作りいただきたいという思いでこれまでやってきた。研修会も、これまでつながりのある形式で行ってきた。アンケートでは、サポーター及び研修会に関する捉え方に温度差があると感じてはいるが、サポート組織の形が見えてきたと感じている。
- 意見 3 押しつけでなく、道筋を示してもらいたい。それがあれば、参加者は話し合いができると感じる。前は、各部門でどのような活動ができるのか参考資料が送付されたが、活動内容の話し合いはなかった。参考資料として塩尻市の資料が送付されたため、塩尻市をモデルにするものだと思っていた。塩尻をモデルにすることが悪いのではなく、もっとフランクに意見交換を行いたいという要望である。また、冬期は道路の凍結があるため、研修会の昼開催を希望する。
- 回答 3 研修会は、全体的な流れを考えながら進めてきた。第1回研修会では、新発田駅前複合施設見取り図をお示しし、どのような活動を行いたいのかをお聞きした。その後、具体的なイメージができるよう、塩尻市「えんぱーく」及びサポート組織「えんぱーくらぶ」を視察した。塩尻市で市民が自主的な活動をしているということで、お話をお聞きした。具体的な組織を作って活動を行っている事例として、参考資料としてお出ししている。組織の体制については、第5回研修会にてお示したため、たたき台として今回の研修会で案をお示した。そして、組織について考え、共通認識としての約束として、規約を決める道筋を歩んでいる。

質問 4 議会でサポート組織に対しての駐車場使用料の優遇措置や社会福祉団体への減免等の取扱いに関する話が出たと聞いた。議会で決定した事項があれば教えていただきたい。研修会で話し合い、サポーターの意に添うようにしていただける部分があれば検討をしたいため、議会の内容について聞きたい。

回答 4 議会は、現在12月定例会を行っている。新発田駅前複合施設の設置条例案の審議が総務常任委員会で行われた。その際、委員から施設利用者の減免についての質問があった。社会教育団体は、現在、新発田市内の施設を利用する場合は減免されるという約束事がある。新発田駅前複合施設でも同様としたいとお答えした。新発田駅前複合施設の開館に向け、サポート組織という市民の皆さまが活動をする新しい組織を作るために、研修会で話し合っていると議会には伝えている。その中で、研修会参加者から意見が出ると思うので、意見がまとまった時点で、サポーターにどのような減免ができるのかを検討するとお伝えした。

質問 5 議会最終日にサポーターに対する優遇措置が決定するのか。

回答 5 設置条例はあくまで、おおまかな枠組みを決めるものであるため、新発田駅前複合施設を設置することを決定するものである。運用についての詳細な内容は、開館に向けて整えていくものである。

意見 6 要望であるが、社会教育団体は、他市内施設と同じ扱いとしていただきたい。駐車場についても配慮していただきたい。

意見 7 第6回研修会まで参加し、参加するたびにサポート組織が必要なのかが疑問になってくる。現在、すでに組織の設置について、議会で審議がされているが、サポート組織がなかったとして、図書館やキッチンスタジオ、こどもセンター等、担当職員がいる。サポート組織に丸投げするためなら組織は不要である。各機能があるならば、それぞれにボランティアがいる形ではだめなのか。前述のようにやってみて、不自由があれば、サポート組織を正式に組織する流れがよいのではないかと感じた。

回答 7 新発田駅前複合施設の設置目的「駅前の賑わい創造」「つなぐ」に立ち返っていただくとサポート組織の意義をご理解いただけたらと思う。新発田駅前複合施設に人が集い、サポート活動をすることで、新しい出会い、新しい賑わいを作ることができると確信している。研修会には、新発田駅前複合施設で活動をしたいと熱望して下さる方がいらっしゃることから、来年度からサポート組織は活動を行うことができると確信している。